

私学いばらき

発行 茨城県私立中学高等学校
保護者会連合会
(茨城県私学協会内)
〒310-0911 水戸市見和 1-356-2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029-226-1224・FAX 029-226-1273
ホームページアドレス
<http://www.ibaraki-shigaku.jp>

茨城県私保連活動を振り返って



平成27年度
茨城県私立中学高等学校保護者会連合会
会長 薄井 恵津子

平成27年6月5日の茨城県私立
中学高等学校保護者会連合会の総
会で、前会長関正樹様より会長職
を引き継ぎました。

まず、7月17、18日にアルカ
ディア市ヶ谷で開催された日本私立小学校中学校高等
学校保護者会連合会の創立10周年記念式典に出席
し、記念講演では「東京オリンピック・パラリンピッ
ク開催に向けて」というテーマで、担当大臣に就任
されたばかりの遠藤利明先生のお話を聞くことがで
きました。また、翌日の総会、研修会では、日本私
立小学校中学校高等学校保護者会連合会中村会長か
ら、私立高等学校等の経常費助成や高等学校等就学
支援金制度の拡充による保護者の教育費負担の軽減
並びに私立学校で学ぶ子供達の教育環境の整備・拡
充の重要性について強く訴えるお話がありました。

8月28日は千葉県で開催された関東地区私立小・
中・高等学校保護者会連合会連絡協議会代表者会及
び研修会に参加しました。代表者会では、関東地区
6県から各県における私学振興助成運動と活動報告
があり、研修会では千葉ロッテマリーンズの高坂部
長代理並びに武藤ヘッドコーチによる「先生方と歩む
スポーツ教育」というテーマの講演会がありました。

また、12月1日には「私学振興全国大会」が日比
谷公会堂で開催されました。茨城県からは県私保連

役員、役員校の保護者及び県私学協会の鈴木康之会
長をはじめとする役員の先生方など総勢41名で参加
しました。この大会で「国庫補助制度の堅持と拡充」
が決議され、大会終了後に県選出国議員あてに陳
情を行いました。

県内における活動の主なものとしては、11月11日
にホテルレイクビュー水戸で茨城県私立中学高等学
校保護者会連合会研修会を開催しました。研修会に
先立ち善行生徒表彰を行い、他の生徒の模範となる
活動を行った個人7名、グループ2団体を表彰しま
した。その後、トライアスロンでアテネ・北京・ロ
ンドンオリンピックに出場した田山寛豪氏を講師に
迎え、「夢 実現に向けて」というテーマで講演会
を行いました。日本選手権で9回の優勝やワールド
カップでの日本人初優勝という輝かしい成績を残し
ながら、次のリオデジャネイロオリンピックを目指
している田山氏の講演は、私達保護者だけではなく、
子供達にもぜひ聞かせたいお話でした。

もう一つは、私立学校教育の振興がより図られる
よう、12月4日に茨城県議会議長、県議会議員への
請願・陳情と、12月14日に茨城県知事・県総務部長
への陳情を行いました。

この1年間を振り返ると不安と緊張の連続でし
た。県私保連役員の皆様、幹事の先生方、私学協会
事務局の皆様の温かいご協力とご尽力に感謝申し上
げます。平成28年度も、皆様のより一層のご支援ご
協力で、県私保連のさらなる発展と、子供達の健全
育成を心から願い、締めくくらせていただきます。
1年間ありがとうございました。

平成 27 年度役員

会 長 薄井恵津子 (大成女子高等学校父母の会会長)
副会長 根本 孝 (聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校後援会会長)
副会長 額賀 修一 (大成女子高等学校理事長・校長)
理 事 福井 英治 (水戸啓明高等学校教育後援会会長)
理 事 野口 勝弘 (つくば国際大学高等学校PTA会長)
監 事 関 正樹 (茗溪学園中学校高等学校父母会会長)

監 事 田代 淳一 (茗溪学園中学校高等学校校長)
幹 事 大津 雅幸 (大成女子高等学校教諭)
幹 事 新井 貞夫 (聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校総務部長)
幹 事 星野 雅弘 (水戸啓明高等学校渉外部長)
幹 事 森 隆徳 (つくば国際大学高等学校渉外部長)
幹 事 永田 眞裕 (茗溪学園中学校高等学校教諭)

27年度 活動報告

会議等

- (1) 茨城県私立中学高等学校保護者会連合会総会・教育懇談会（6月5日 会場：ホテルレイクビュー水戸）

総会議事に先立ち、県総務部総務課私学振興室より「本県の私学助成について」の説明をいただきました。続く総会には各会員校の代表者等81名が出席し、平成26年度事業報告および収支決算報告、平成27年度役員を選任、平成27年度事業計画および収支予算など、提出議案はすべて承認されました。続いて、保護者会活動に尽力された方々の功績を讃える平成27年度県私保連功労者表彰では、特別功労者5名、功労者12名の方々に感謝状の授与を行いました。総会終了後、教育懇談会が開催され、各会員校の保護者会の情報交換をするなど実り多い時間を過ごすことができました。

- (2) 日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会設立10周年記念式典・総会・研修会（7月17日・18日 会場：アルカディア市ヶ谷）



平成27年7月17日・18日の両日、全国から多くの関係各位の出席を得て、標記の会が開催されました。初日は記念式典の後、東京オリンピック・パラリンピック

担当大臣遠藤利明先生に記念講演をいただきました。翌日の総会では、平成26年度の事業報告・決算報告、平成27年度の事業計画案と予算案が全会一致で承認され、午後は情緒あふれる東京下町の各所を視察する臨地研修で、全ての日程を終了しました。

- (3) 関東地区私立小・中・高等学校保護者会連合会連絡協議会代表者会及び研修会 千葉大会（8月28日 会場：千葉県三井ガーデンホテル千葉）



関東地区6県から118名の保護者会関係者（本県からは会長他12名）が参加し、標記の会が開催されました。代表者会では、各県から私学振興助成運動と成果の報告がありました。

研修会では、「先生方と歩むスポーツと教育」と題した、千葉ロッテマリーンズの高坂俊介氏・武藤一邦氏による講演を拝聴しました。続いて部活動発表では、桜林高等学校の和太鼓部・少林寺拳法部と書道部のコラボによる迫力ある演武が披露されました。最後の懇親会においては、本県の薄井会長の乾杯の発声のあと、千葉県産の食材を主にしたお料理を頂きながら和やかなひと時を過ごしました。平成28年度の同大会は神奈川県での開催となります。

県私保連研修会（11月11日 会場：ホテルレイクビュー水戸）

県内私立中学高等学校の保護者・教職員106名が参加した県私保連の研修会を開催しました。講師のトリアスロン／アテネ・北京・ロンドンオリンピック日本代表 田山寛豪たやまひろかず氏から「夢 実現に向けて」と題したご講演をいただきました。アテネ・北京・ロンドンのオリンピックと日本選手権9勝の記録を持つ田山氏の実体験に基づいた講演は、とても分かりやすく、努力して夢をつかむことの素晴らしさを再認識する機会となりました。



善行生徒表彰



11月11日の県私保連研修会において他の模範となる生徒・グループを表彰する善行生徒表彰を行いました。根本副会長から活動内容の紹介があり、薄井会長より個人7名と2つのグループに表彰状を授与しました。今後、このような社会貢献がますます盛んになることを期待しています。

●茨城キリスト教学園高等学校
石井 栞奈・武藤 詩織 (高校3年)

〔緊急時貢献活動〕

放課後、J R大みか駅入口に向かう階段で目の不自由な人から助けを求められたので、大みか駅から帰り道である水戸駅まで同行し、駅のバス停まで付き添う介助をした。この行いにより、「いばらき教育の日」推進大会では「善行表彰」を受賞している。

●常磐大学高等学校
河野 柚美 (高校2年)

〔地域文化の向上活動〕

よさこいのチームに所属し、イベントで演舞したり、施設などへの慰問を行ったりしている。平和への願いや感謝の気持ちを鼓に込め、観客が笑顔になり元気になると活動している。

●水戸啓明高等学校
木村 駿暉 (高校3年)

〔地域文化の向上活動〕

「大洗町高校生会」に所属し、地域ボランティア活動に積極的に取り組んだ。年10回以上の、町主催の各種イベントにおけるボランティア活動を通して、地域の子どもたちの模範となった。

●霞ヶ浦高等学校
奥井 優介 (高校1年)

〔緊急時貢献活動〕

夕刻時、J R荒川駅近くのマンションのゴミ置き場の出火を発見し、直ちに119番通報。友人や居合わせた人々と消火活動を行い、土浦市消防本部から感謝状が贈られた。

●つくば国際大学高等学校
高橋英一郎 (高校1年)

〔緊急時貢献活動〕

夕刻時、J R荒川駅近くのマンションのゴミ置き場の出火を発見し、直ちに119番通報。友人や居合わせた人々と消火活動を行い、土浦市消防本部から感謝状が贈られた。

●愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校
片柳ももか (高校3年)

〔社会福祉活動〕

平成15年9月からボーイスカウト活動をしており、市内におけるクリーン作戦、募金活動、守谷ハーフマラソンや守谷国際協力 (MIFAフェスタ) における奉仕活動、商工まつりへの参加などの社会貢献活動をしている。

●大成女子高等学校
[吹奏楽部108名]

〔社会福祉活動〕

近隣の老人福祉施設や小中学校、幼稚園、保育園を訪問してのミニコンサートなどを行い、年間を通して多くの地域でボランティアの演奏活動をしている。

●常磐大学高等学校
[ダンス部51名]

〔社会福祉活動〕

老人ホームを定期的に訪問し、ダンスを披露したり、ご年配の方でもその場でできるようなダンスを考えたりして、一緒に踊るボランティアの活動をしている。

以上 7校：個人7名・団体2団体

私学助成に関する請願・陳情



県私保連役員は私学協会役員とともに以下の請願・陳情を行いました。

- (1) 12月1日(火) 東京都日比谷公会堂で私学振興全国大会が開催され、薄井会長をはじめ、役員及び役員校の保護者が参加しました。大会では、私学助成への保護者の願いと公教育における公私間の様々な格差是正を目指す決議が行われました。閉会後は大会決議をもって県選出の国会議員への陳情を行いました。
- (2) 12月4日(金) 県議会議長・自民党県連への請願・陳情を行いました。
- (3) 12月14日(月) 県知事・県総務部長へ陳情を行いました。

要望事項

- 1 経常費補助金について
- 2 高等学校等就学支援金制度の改善充実と授業料減免事業の拡充について
- 3 教職員研修に係る補助金について
- 4 教職員退職手当助成金に係る補助金について



請願審査結果

平成27年12月16日付けで私学協会とともに県議会議長に提出した「平成28年度私立高等学校等経常費等助成に関する請願」が採択された旨の通知を同議長よりいただきました。

県私保連について

茨城県私立中学高等学校保護者会連合会（略称「県私保連」）は、県私保連の前身となる茨城県私学父母の会が、昭和 57 年、全国私学父母の会（現在の「日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会」）と協調し、父母自身の問題を父母の立場で解決する場を求めて発足しました。平成 19 年には、現在の名称に変更し、発足から一貫して、茨城県私学協会・県私保連・茨城県高等学校 PTA 連合会私学部会（略称「私学部会」）の私学三団体が連携・協調して私立中学高等学校等経常費等助成に関する請願・陳情等の活動をしてまいりました。

平成 22 年 5 月、全国組織をはじめとする関係団体との連携を強化するために、県私保連は私学部会と統合して、現在の県私保連を設立しました。

各私立学校が「建学の精神」に基づきそれぞれの特色ある教育を展開しながら協調し、より良い教育環境を確保・整備していくことが茨城県全体の教育力を向上させることと確信し、その一翼を担うため、今後とも学校とさらに協力していくことが県私保連の使命と考えます。

また、県私保連は「私立学校助成の拡充及び保護者の教育費負担の軽減に向けての運動推進」を主要な事業に掲げ、主に私学助成に対する充実強化のため毎年活動を進めております。

私学助成について

茨城県内の私立学校に通う生徒を持つ、私たち保護者の教育費負担軽減を目的としている主な私学助成のご紹介

私立高等学校等経常費補助金

私学助成の主なものが「経常費補助金」です。経常費補助金は、私立学校の経営の健全化、教育条件の維持向上及び就学上の保護者負担の軽減を目的として県から私立学校に補助されています。

平成 27 年度は高校生 1 人当たり 340,044 円※（中等教育学校後期課程同額）・中学生 1 人当たり 313,449 円（中等教育学校前期課程同額）の補助金が交付されました。

※補助単価は標準額。学校の規模（生徒数、教職員）等により異なります。

生徒 1 人当たりの補助金額推移

県私学振興室資料（単位：円）

学 校 種		26 年度	27 年度	28 年度
高 等 学 校		333,607	340,044	346,732
中 等 教 育 学 校	後 期			
	前 期	309,581	313,449	317,074
中 学 校				
通 信 制 高 等 学 校（狭域通信制）		67,030	67,927	68,715

※通信制高等学校への補助金額は、狭域通信制の高等学校への県補助金額です。広域通信制の場合は国からの直接補助になります。

私立高等学校等就学支援金

家庭の経済状況にかかわらず、すべての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込めるよう、教育費負担の軽減を図ることを目的に授業料の一定額が「高等学校等就学支援金」として国から支給されています。

○高等学校（全日制課程）の生徒の場合

- ・高等学校等就学支援金は、年収 910 万円未満世帯に、月額 9,900 円（年額 118,800 円・県立の授業料相当分）支給されます。
- ・保護者の年収に応じて一定額加算（1.5 ～ 2.5 倍）されます。

県私学振興室資料（単位：円）

保護者の年収の条件	支給額（年額）	加算区分
250 万円未満	297,000	2.5 倍
250 ～ 350 万円未満	237,600	2 倍
350 ～ 590 万円未満	178,200	1.5 倍
590 ～ 910 万円未満	118,800	一 律
910 万円以上	—	—

※年収は、保護者の内どちらか一方が働き、高校生 1 人（16 歳以上）、中学生 1 人の 4 人世帯の目安です。



私立高等学校等授業料減免事業

経済的理由により授業料の納入が困難な生徒の修学機会を確保するため、高等学校等就学支援金に上乗せして授業料減免措置を実施している学校法人に対して県から補助金が交付されています。

(注) 私立学校によっては独自の奨学金制度を実施していることなどから、この事業を実施していない学校があります。

県私学振興室資料

保護者の年収の条件	県からの補助額（私立高等学校・全日制課程の場合）
350万円未満	保護者の年収区分による就学支援金支給額と県平均授業料（年額 301,000円）との差額（1割学校負担）を補助
350～590万円未満	保護者の年収区分による就学支援金支給額と年額 180,000円との差額（1割学校負担）を補助



私立高等学校等奨学給付金

すべての生徒が安心して教育を受けられるよう、低所得世帯（非課税世帯）の生徒に対して奨学のための給付金（授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費等）が県から支給されています。

(注) 保護者等が茨城県内に在住していることが支給の要件となります。

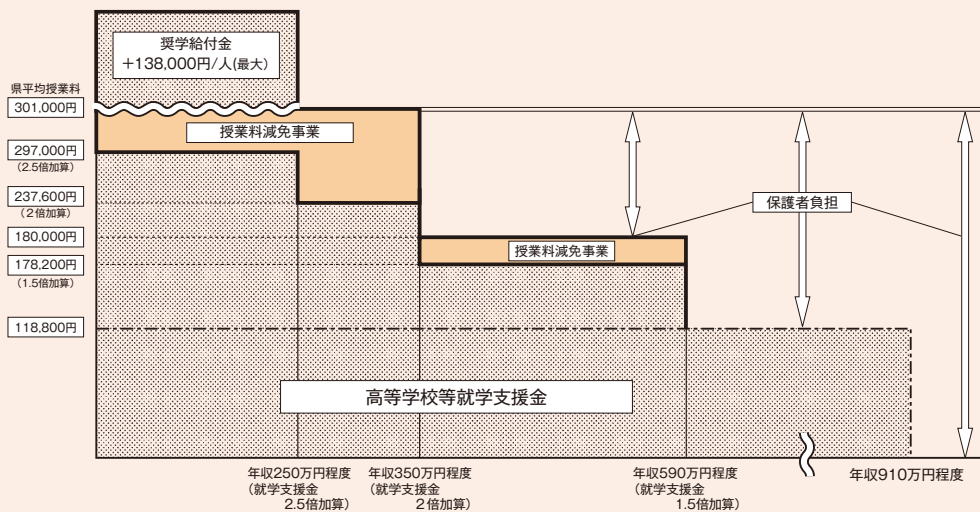
県私学振興室資料（単位：円）

区 分	奨学給付金支給額（年額） ※（ ）は通信制
生活保護受給世帯	52,600（52,600）
第1子の高校生等がいる世帯	67,200（38,100）
23歳未満の被扶養者がいる世帯で第2子以降の高校生等がいる世帯	138,000（38,100）

参考

私立高等学校等就学支援金・授業料減免事業のイメージ図

保護者の年収 350万円未満世帯の場合、就学支援金及び授業料減免により、県平均授業料（年額 301,000円）までが実質無償化されます。



- (注) 1 奨学給付金は授業料以外の教科書費、教材費、学用品等の購入経費を支援する事業
 2 就学支援金及び授業料減免事業は授業料の負担軽減する事業
 3 授業料減免事業には学校負担（1割）を含む
 4 年収は、保護者のうちどちらか一方が働き、高校生1人、中学生1人の4人世帯の目安

会員校紹介

水戸啓明高等学校

KEIMEIは、「誠実」「勤勉」「協和」「努力」を校訓に掲げ、文武両道を目指し、学習や部活動の向上に取り組んでいます。

平成24年に、長年親しんだ「水戸短期大学附属高等学校」から「水戸啓明高等学校」へと校名変更しました。KEIMEIは、理科分野に焦点を当てた、「サイエンスフロンティアコース」、大学進学を目指す「選抜特進文理コース」、勉強とスポーツの両立を目指す「特進文理コース」、商業科目に焦点を当てた「人間経済コース」で編成されています。また、学校をあげての取り組みとして、ボランティア活動への参加があります。KEIMEIでは、部活動だけではなく、一般の生徒たちも多数参加しています。平成27年度は、約600人の生徒が何らかのボランティア活動に従事し、地域社会に貢献を果たしています。

また、平成28年度から、新たに世界に目を向けた「グローバルフロンティアコース」がスタートします。広い視野を持ち、世界を見据えて郷土に貢献できる人材育成を目指します。

教育後援会活動としては、保護者と教員の共通理解を目的とした研修会を実施しています。江戸東京博物館や東京消防庁本所防災館などに行き、歴史や文化などを学びながら、お互いの意見交換の場として充実を図っています。保護者の皆さまとともに、生徒のために、学校発展のために、より有意義な活動を実践しております。



つくば国際大学高等学校

本校は創立71年を迎えました。建学の精神は【白梅の花実両全】です。風雪に耐え、百花に先駆けて香気高く開花し、やがて立派な実を結ぶ。この白梅のように「忍耐」・「努力」・「誠実」・「気品」・「奉仕」を涵養する教育を理念としています。「人間性」・「社会性」・「国際性」を重視した教育を進め、生徒一人ひとりの個性を十分に発揮できる教育を実践して、社会で積極的に活躍できる心豊かで逞しい人材の育成を目指しています。

一昨年には充実した施設設備が整った新校舎が完成し、生徒たちは恵まれた教育環境の中、充実した学校生活を送っております。4月には本校の前を流れる新川沿いの桜並木が満開の中、新入生を迎え、さらに活気が溢れています。部活動では、インターハイ、関東大会出場

など成果を出しております。PTA活動に於きましては、毎年の研修旅行などを通じて、保護者間や担当教員との連携・交流を深めるための積極的な活動が行われています。また、好文祭（文化祭）に於いて役員が中心となり出店し、生徒との交流も深めております。年2回発行される広報誌「白梅」を通じ、学校行事やPTA活動の取り組みなど盛りだくさんの内容で保護者に好評をいただいております。これからも、活動を通じて保護者同士の繋がりや、学校と家庭の連携を大切に活動していきたいと思っております。



会員 28年4月現在 25保護者会

明秀学園日立高等学校・茨城キリスト教学園高等学校・茨城キリスト教学園中学校・大成女子高等学校・常磐大学高等学校・茨城高等学校中学校・水戸女子高等学校・水戸啓明高等学校・水城高等学校・水戸葵陵高等学校・水戸英宏中学校・清真学園高等学校中学校・鹿島学園高等学校・岩瀬日本大学高等学校・つくば国際大学高等学校・霞ヶ浦高等学校・土浦日本大学高等学校・土浦日本大学中等教育学校・東洋大学附属牛久高等学校・愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校・江戸川学園取手高等学校中学校・常総学院高等学校中学校・聖徳大学附属取手聖徳女子中学校高等学校・茗溪学園中学校高等学校・つくば秀英高等学校

28年度の活動予定

6月14日	総会及び教育懇談会
6月24日	関東地区私学保護者会連合会理事会（神奈川県）
7月21日～22日	日私学保連総会・研修会（愛知県）
8月26日	関東地区私学保護者会連合会代表者会及び研修会（神奈川県）
11月15日	請願・陳情打ち合わせ会議 研修会及び善行生徒表彰
11月29日	私学振興全国大会（メルパルク東京・港区芝公園）

編集後記

「私学いばらき」第6号をお届けいたします。私学を取り巻く状況はますます厳しさを増しておりますが、私学助成に関する請願・陳情の活動も実を結びつつあるようです。ひとえに関係者各位・会員の皆様のご尽力の賜物と感謝しております。